

平成 24 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社メディビックグループ
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号 2369 : 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 門井 豊
(Tel: 03-6415-4031)

神戸大学医学部附属病院との共同研究会発足に関するお知らせ ～ ゲノム薬理学の研究を通じ、テーラーメイド医療の実践を目指す ～

このたび、メディビックは神戸大学医学部附属病院薬剤部とゲノム薬理学の研究及び薬剤師向け教育に関する研究会を共同で発足することとしましたので、お知らせいたします。

1. 背景と目的、予定など

神戸大学医学部附属病院の平井みどり教授は「遺伝子医療の推進における薬剤師の積極的活用」をテーマに研究をされております。遺伝子検査に基づく薬物の投与設計、薬物治療モニタリング等は当社の提唱するテーラーメイド医療実現に必要な不可欠なものであり、今後この分野での薬剤師の積極的な活用も期待されているところであります。

またメディビックは、現在テーラーメイド健康管理事業として、薬物に対する反応性を検査する「おくすり体質検査」を、調剤薬局（薬剤師）を中心にサービス展開しております。この「おくすり体質検査」は、肝臓で薬を代謝する酵素の働きの個人差を遺伝子レベルで調べる検査で、正にゲノム薬理学に基づく実践であると言えます。

このように、ゲノム薬理学の臨床現場への浸透、発展には薬剤師の果たす役割は極めて重要になってきており、研究と同時に薬剤師の教育・啓蒙は喫緊の課題であるとの認識で一致し、共同で研究会を発足する運びとなったものであります。

本研究会では、ゲノム薬理学の研究及び普及のための薬剤師の教育を主な目的として、随時学術集会を開催することとしております。また市民講座等を通じて広く一般市民への啓蒙活動も行う予定であり、将来的には本研究会を学会レベルに発展させ、ゲノム薬理学を専門に扱う薬剤師の認定試験制度を設けるなど、ゲノム薬理学の発展、並びにテーラーメイド医療の進展に寄与したいと考えております。

今般、本研究会の発足会を 4 月 19 日に開催する予定であります。本発足会では、当社代表の橋本が「ゲノム薬理学の発展を目指して」と題して基調講演を行う予定であります。

発足時はメディビックと平井みどり教授の持つ研究グループが中心メンバーとなりますが、今後は主に薬剤師、製薬関連企業からの会員を募っていく予定であります。

2. 今後の見通し

本件が平成 24 年 12 月期当社連結業績に与える影響は軽微であります。

■ゲノム薬理学とは・・・

ゲノム薬理学とは、薬の効果や副作用に対するひとりひとりの違いを遺伝子レベルで研究する学問領域。あらかじめ遺伝子を調べることで、患者に薬物を投与する前にその患者の体質に合わせた投与量に調節することができ、有効かつ安全な薬物治療を行うことができるようになります。

■平井みどり教授のプロフィール

平井みどり（ひらいみどり）神戸大学医学部附属病院 教授・薬剤部長

兵庫県生まれ、京都大学薬学部卒、薬剤師。神戸大学医学部卒、医師。大学院修了後、神戸大学医学部附属病院薬剤部、京都大学医学部附属病院薬剤部を経て、神戸薬科大学で12年間教鞭をとり、2007年より現職。薬理学の基礎研究、薬剤学の分子生物学的アプローチを経て、現在は医療系教育（医学・薬学）と薬物治療の最適化、病院における臨床研究の基盤整備がテーマ。

以 上